

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	鶴川第二学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市能ヶ谷7-24-2(鶴川第二小学校敷地内) 【開設年月】2007年 【開館日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積 232.47㎡ 【建物構造】軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】112名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.higashidaira.com/publics/index/28/		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 明社会	法人番号	2012305001315
指定管理者所在地	町田市広袴町543-1		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者満足度(全体満足度) 目標値80%	2020年1月31日	結果98.48% 達成率123.11%
利用者満足度(サービス・施設管理面) 目標値80%	2020年1月31日	結果96.29% 達成率120.36%
研修参加回数 目標値4回	2020年3月31日	結果8回 達成率200%

3. 昨年度の課題

内容	【利用者満足度調査回収率】 回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。次年度以降の改善を指導した。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査の全体満足度については昨年度に引き続き90%以上となっており、継続して高い満足度を得ていることから、適切な運営管理等を行っている判断できる。昨年度の課題であった回収率については、昨年度から約1ポイント悪化し、75%を満たさなかったため、利用者の意見聴取については、更なる充実が求められる。 職員の人材育成や研修受講支援についても、目標を上回り、一定以上取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っている判断し総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	今年度は新たな取り組みとして、2回の法人主催研修を実施し、職員のスキルアップを図りました。複数の職員が研修に同時に参加することで、多くの情報を共有できました。 昨年度の課題となっていた利用者満足度調査の回収率向上のため、アンケートの配布とは別におたよりで回答のお願いを実施しました。しかしながら目標値の75%には届きませんでした。次年度も保護者への働きかけを継続し、回収率の向上に努めます。結果は、98.5%が満足しておられるという高評価をいただきました。 これは、開所から13年間の時を経て、保護者の皆様・子ども達と鶴川第二学童保育クラブ施設の職員との信頼関係が構築され、安心してご利用していただいている証として、最も評価される点です。今後も、ご家庭と学童が一体となり、子ども達が安心して楽しく過ごせ、保護者の皆様には安心して子どもを預けられる施設となれるよう、職員一同力を合わせて子ども達の保育にあたらせていただきます。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2020年1月 【登録児童数】102名(調査月1日時点) 【配布枚数】96枚(家庭数配布) 【回答数】66枚 【回収率】68.8% 【調査方法】連絡板を通して利用者全家庭に配布し、郵送で回収
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	98.5%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	100.0	98.1	96.2	98.5	98.5

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	96.3%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	91.8	91	94.1	96.5	96.3

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤・長期勤務職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	7回	7.5回	B	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	2	2	4	3	4
実績値		4.0	3.5	4.0	7.5

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度90%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており、満足度は高い水準であったことから、全体的に優れた運営を行っている判断できる。学童保育クラブの管理運営において、総合的に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を下回っており、利用者の意見聴取に課題があった。次年度以降の改善を指導した。研修の平均受講回数は5回を超えており、職員の能力向上への取り組みは要求水準以上であった。職員の資質向上については、一定以上取り組んでいると判断できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	2015		2016		2017		2018		2019		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	23,246	22,286	23,507	23,110	27,022	26,667	29,303	29,248	30,060	31,226
	特別育成料	360	737	360	840	360	765	720	713	720	713
	雑収入	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	23,606	23,025	23,867	23,950	27,382	27,432	30,023	29,961	30,780	31,939
支出	人件費	19,390	18,053	19,587	18,778	22,921	20,904	25,524	23,785	25,802	26,473
	管理費	810	930	835	913	889	949	889	1,035	979	952
	運営費	706	732	709	733	799	908	799	1,079	949	831
	精算する経費	1,500	1,331	1,500	1,188	1,500	1,355	1,500	1,574	1,700	1,674
	間接経費	1,200	1,200	1,236	1,236	1,273	1,273	1,311	1,561	1,350	1,599
	計	23,606	22,246	23,867	22,848	27,382	25,389	30,023	29,034	30,780	31,529
総計(収入-支出)	0	779	0	1,102	0	2,043	0	927	0	410	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	20.0	-1.0	3.5	1.3	6.5
負債比率	12.8	14.2	14.2	18.3	10.3

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。